

図書館友の会 ニュース

発行 岸和田市図書館友の会 《発行責任者 杉原 富人》

2024 年
7 月号

No. 31



就任のご挨拶

松谷敬一さんは、12 年間もの期間、会長を務められ、お疲れさまでした。

図書館友の会の活動理念は「本を介した人と人とのつながりによる多様な交流」にあると思います。その考えを基本に、活動をさらに発展させながら、各教室を横断するような公開講演会、「文学歴史散歩」や「史跡を歩く会」等も企画し展開したいと考えています。

また、今年は「戯曲教室」（4 頁参照）も新たに開講する予定ですので、よろしくお願いします。

図書館友の会の総会を開催

新会長に杉原富人氏

「図書館友の会」は 6 月 12 日に図書館で総会を開催し、2023 年度の活動報告・決算報告、2024 年度の活動計画・予算案を提案。それぞれ了承されました。

また、これまで会長を務められた松谷敬一さんに代わり、杉原富人さんが新たに会長に選出されました。

総会後にはその杉原新会長が「コラーゲンペプチドの膝関節への影響」と題して講演。今年正月の「第 100 回箱根駅伝」で「なぜ城西大学駅伝部は好成績を挙げることができたのか？」を、駅伝部員を被験者とした試験結果を紹介しながら「コラーゲンペプチドの膝関節への影響」について話されました。

図書館友の会詩の教室 公開講演会

宮澤 賢治 ～その人・人生・作品について～

講師 倉橋 健一氏

詩集『春と修羅』童話『よだかの星』『セロ弾きのゴーシュ』『銀河鉄道の夜』や遺作メモ『雨ニモマケズ』など、誰もが愛し読み継がれる多くの作品を残した賢治。倉橋氏は、著書『宮澤賢治』の副題に二度生まれの子とつけています。

宮澤賢治とは、どのような人物だったのでしょうか？またどのような経緯で作品は生まれたのでしょうか？倉橋氏が語ってくれます。

日時：7 月 21 日（日）午後 1 時 30 分～3 時 30 分

場所：図書館本館 3 階 視聴覚室 定員：40 名（申し込先着順）

※ 図書館本館に直接または電話（072-422-2142）でお申し込みください。

図書館友の会 岸和田再発見教室 公開講演会

「倭国と和泉の古墳時代」

6月22日、岸和田市立八木市民センターには60名が参加。岸本直文氏（大阪公立大学
院教授）のダイナミックな話しぶりに聞き入りました。

参加者からは、「和泉・岸和田地域の古墳の太陽がわかって良かった。」「久米田貝吹
山古墳、摩湯山古墳の形態がわかったので良かった。」「2時間があったという間に過ぎま
した。」などの感想が寄せられました。

講演会参加者の感想

文章教室 杉原まつ子

今回、倭王権と久米田古墳群（貝吹山古墳、風吹山古墳、無名塚古墳など）・摩湯山古
墳とのかかわりを聞いて普段からの疑問がすっきりと解明されました。久米田古墳公園で
は私たちは、住民の憩いの場として古墳公園を散策し、遊びの場として子どもたちが走り
回っています。この地に住んでいて未だに未整備の貝吹山古墳の荒れようは心の痛むもの
であり、岸本先生は表土の流失を心配されていました。貝吹山古墳の整備保存がされるよ
う願っています。

貝吹山古墳は全長132mの前方後円墳であり、西暦350年頃に地域の首長の墳墓とし
て築かれました。応神王朝の韓半島での鉄資源確保のための海上交通の拠点確保を目的と
し、和泉地域の首長を同盟内の有力地位に引き立てた結果、突如として築かれたのです。
この古墳は、『佐紀陵山（さきみささぎやま）古墳』と相似形（【執政王系列】）である
そうです。その後、4世紀後半には、この地に王族が派遣され、一代限りの200メート
ル超級の巨大な前方後円墳・摩湯山古墳が造られたのです。この古墳は『五社神（ごさ
し）古墳』と相似形（【神聖王系列】）であると指摘されました。この岸和田の地が、今
から1600年前にのほほんとした古代人の生活が、武人や船人、土師師（古墳を作る人
びと）の集まる騒然とした場所になり、その後、情勢の変化に伴い、河内政権の支配地
に移っていきました。ゲームやアニメで見るような世界があったのかと思いました。地元
の有力首長が豊かなこの地で繁栄して、古墳を築いたのだらうと思っていたのに、なんと
古代の倭王権の日本史的な歴史だったのでしょうか。とてもびっくりしてワクワクして、そ
してちょっぴり摩湯山古墳の被葬者が地元民ではなかったことにガッカリして、岸和田の
古代のロマンに浸りました。734年に久米田池が造られる時の350年前、久米田丘陵
の一部が湿地帯だった時代のことです。

「歴史カフェ」＝岸和田ブックフェスタ＝に参加して

4月27日、八木市民センターで「歴史カフェ」を開催。「なぜ、和泉国では4世紀中頃以降に
前方後円墳が築造されたのか」（杉原富人氏が報告）をテーマに参加者で討論しました。

初めて「歴史カフェ」に参加しました

池尻町 西林茂樹

地元に歴史的・文化的に価値のある古墳群がありながら、その重要性を知る機会もな
く、長年過ごしてきました。今回のお話で大変驚いのは、前方後円墳はどれも同じと思っ
ていましたが、神聖王系列（主系列）と執政王系列（副系列）の二系列があるとのこと
でした。久米田貝吹山古墳は副系列で、摩湯山古墳は主系列だそうです。和泉地域は同時期
に2系列の前方後円墳が築造されたユニークな地域だそうです。摩湯山古墳はほぼ未発掘
のままなので、ぜひ岸和田市が中心になり発掘を含む本格的な学術調査をして欲しいと思

いました。被葬者等が解明されれば、謎だらけのこの地域の古墳時代の様子もよりはっきりすることでしょう。また今回のお話は6月と11月の講演会にも繋がるということで、今後の講演会も一層楽しみになりました。この地域の古墳「ミステリー」の解明のためにもぜひ参加したいと思っています。

次回もぜひ参加したいと思います

梶野 昭太郎

「ブックフェスタ／歴史カフェ」には何度も参加させてもらっています。興味あるテーマの時はできる限り都合をつけて…。今回のテーマは大変関心がある分野なので即参加をきめました。小中学校時代に郷土史をきちんと勉強してなかったのが、摩湯山古墳を初めて見た時は大感激。大仙陵古墳を見学した時に頂いたクリアファイルに、この古墳は全長200メートルで全国36位の古墳だと印刷されていたのを見て認識を新たにしました。

私の関心はなぜ岸和田にこのような巨大古墳、それも前方後円墳があるのかです。一時摩湯山古墳は卑弥呼の墓という説がありました。残念なことに今は否定されていますが、この説はこの古墳に対する私の関心を深めてくれました。

今回のテーマは日頃の疑問を解き明かしてくれると思い参加しました。詳しい方、初心者の方などいろんな方々がおり、大変参考になりました。次回も是非参加させて頂ければと思っています。宜しくお願いします。

地名の秘密

㊾ 珠洲(すず)

国引き神話にある岬名に関連？

2024年1月1日午後4時10分ごろ、石川県能登半島で最大震度7の揺れを観測する大地震が発生した。気象庁による正式名称は「令和6年能登半島地震」。この地震でよく出てくる名前の一つが、「珠洲(すず)」。

『47都道府県・地名由来辞典』の石川県の地名の一つに「珠洲」があり、国引き神話に登場する由緒ある地名と記載されている。珠洲の地名が最初に表記されているのは、平城京出土木簡713年(同和6年)、表(越前国珠洲郡月次里)の表示あり、その後出雲風土記733年(天平5年)の国引き神話に、高志(こし)の都都(つつ)の三埼に、余った土地をみつけ「国来、国来(くにこ、くにこ)」と土地を引き寄せ、出雲の国にくっつけた。それが三穂の埼となった。神が能登半島の先端(珠洲市)から引いて縫い付けたのが島根県の先端(旧美穂関町)であると書かれている。その際、神が用いた綱を掛けた杭は、伯耆国の火の神岳(伯耆大山)であり、綱は夜見の島(弓ヶ浜)と姿を変えたという。

「鈴」の万葉仮名が「須須」で、そこから変化して「珠洲」の地名になったと考えられている。すずの由来については、いくつかの説があるが、「収穫祭に12個の小さな鈴を結った神楽鈴を振って報謝の舞を舞ったとき、シャンシャンと鳴らす鈴の音」に由来するとの説もある。

【参考文献】 47都道府県 地名の謎と歴史。k k ベストセラーズ。

古事記を暴く。(株)メディアソフト。47都道府県・地名由来辞典 丸善出版

【文責】 文章教室 浦田榮二

友の会「文学歴史散歩」《バスツアー》 11月15日予定

今年は、天理参考館や唐子・鍵遺跡などを訪れます

今年の「文学歴史散歩」は、世界の生活文化と考古美術の博物館である天理大学附属天理参考館、弥生時代にヤマト地域での拠点集落であった唐子・鍵遺跡と考古学ミュージアムを訪問し、「ヤマト王権誕生」の経緯などを実地見聞します。

●天理大学附属天理参考館(博物館)

約30万点にも及ぶ収蔵資料の中から約3000点を「世界の生活文化」・「世界の考古美術」の2部門にわけて展示しています。特に、富雄丸山古墳出土とされる三角縁神獣鏡も展示されています。また、訪問時は開館94周年記念展「芭蕉の根源—北村季吟(きぎん)生誕四百年によせて—」を展示中です。



●唐子・鍵遺跡(国史跡)



規模の大きさのみならず、大型建物の跡地や青銅器鑄造炉など工房の跡地が発見され、話題となった奈良盆地中央部にある遺跡です。全国からヒスイや土器などが集まる一方、銅鐸の主要な製造地でもあったと見られ、ここから出土した土器に描かれていた多層式の楼閣(左の写真)が遺跡内に復元されています。

●唐子・鍵考古学ミュージアム

日本を代表する弥生時代の環濠集落である唐古・鍵遺跡の考古資料を中心に展示しています。唐古・鍵遺跡から出土した豊富な実物資料をもとに、約2,000年前の弥生時代の生活文化を知ることができます。

図書館友の会 新教室「戯曲教室」を開講します

シェイクスピア、イプセン、チェーホフ、井上ひさしの戯曲をテキストとし、参加者で「登場人物」を分担して読み合わせ、戯曲の楽しさを味わいます。毎月1回、第4日曜日に、岸和田市立図書館本館3F会議室で行います。

◇開講日：9月29日(日) 13:30~16:00

※使用テキスト『マクベス』(シェイクスピア作、木下順二訳、岩波文庫)。出席者は各自購入/入手してください。

【申込み・問合せ先】 杉原富人(090-2382-6180)まで、ショートメールでご連絡ください。



